



平成25年11月14日

各位

株式会社雪国まいたけ

代表取締役社長 大平 喜信

(コード番号 1378 東証第2部)

問合せ先 取締役兼執行役員

管理本部長 吉川 博志

(TEL. 025-778-0111)

**(訂正) 「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

平成23年8月1日付「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正がありましたのでお知らせいたします。

1. 訂正の経緯

訂正の経緯につきましては、平成25年10月25日付「不適切な会計処理が行われていた可能性についてのお知らせ」および平成25年11月5日付「社内調査委員会の調査報告書の受領及び当社の対応について」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月1日

上場会社名 株式会社 雪国まいたけ 上場取引所 東
 コード番号 1378 URL <http://www.maitake.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大平 喜信
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼上席執行役員管理本部長（氏名） 海野 光夫 TEL 025-778-0111
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	4,998	△5.8	△1,686	—	△1,853	—	△1,097	—
23年3月期第1四半期	5,308	15.7	△310	—	△466	—	△250	—

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 △1,058百万円（－％） 23年3月期第1四半期 △200百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	<u>△30.32</u>	—
23年3月期第1四半期	<u>△6.75</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第1四半期	<u>38,144</u>	<u>4,497</u>	<u>11.1</u>
23年3月期	<u>38,001</u>	<u>5,917</u>	<u>14.9</u>

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 4,234百万円 23年3月期 5,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—				
24年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	13,000	14.1	△1,500	—	△1,850	—	△950	—	△26.24
通期	35,000	32.0	3,000	101.5	2,300	153.8	1,550	121.3	42.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	38,890,375株	23年3月期	38,890,375株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,686,941株	23年3月期	2,691,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	36,202,801株	23年3月期1Q	37,111,522株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び電力供給の制約等により収縮した経済活動に持ち直しの動きが見られはじめたものの、個人消費の萎縮・自粛ムードの広がりや電力使用制限への対応などから、景気の見通しは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、消費者視点でのモノ作りを追求し、「安全・安心」で「高品質」な食品の提供に取り組んでまいりました。また震災後における食材不足の状況下では、当社グループが持つ生産能力をフル稼働させて、最大限の商品供給体制で顧客からの要求に対応してまいりました。

中長期的な目標である「グローバル化の推進」としては、中国における茸事業の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

しかしながら当第1四半期連結累計期間を通じては、震災後の個人消費の減退による売上減少の影響が大きく、売上高は49億98百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業損失は16億86百万円（前年同四半期は3億10百万円の損失）、経常損失は18億53百万円（前年同四半期は4億66百万円の損失）、四半期純損失は10億97百万円（前年同四半期は2億50百万円の損失）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

セグメント		連結売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
	まいたけ	1,702	93.7
	えりんぎ	755	78.5
	ぶなしめじ	596	59.8
	その他生茸	187	87.2
	生茸計	3,241	81.2
	加工食品	154	102.6
	茸計	3,395	82.0
	もやし・カット野菜	1,119	152.2
	その他食品	281	119.2
	食品計	4,796	93.8
その他		201	103.1
合計		4,998	94.2

①茸

国内の生茸の販売は、消費全体が収縮する中で茸の消費も低迷し、苦戦を強いられる厳しい状況で推移いたしました。ぶなしめじにつきましては、前期より増産に向けた新設備の導入を進めてきましたが、一部の自動化機械設備の導入の遅れにより減産したことも売上減少及びコストアップの要因となりました。なお、ぶなしめじの増産体制につきましては、当第2四半期において全ての設備導入が完了する予定であります。

中国におきましては、四川省に新設しましたえのき茸生産工場は5月より出荷を開始し、上海市に新設しましたぶなしめじ生産工場も5月より稼働を開始しており、中国での茸事業の拡大に向けた取り組みを着実に進めてまいりました。

以上により、茸の売上高は33億95百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

②もやし・カット野菜

カット野菜の販売は、競合他社との競争が厳しさを増す中で、当社商品の価値の高さ、商品完成度の高さ、そして自社での農薬検査等の安全性の高さなどの差別化を図ってきたことが新たな販路の開拓や取り扱い数量の増加に繋がり売上を大きく伸ばしました。

また、もやしにつきましても新規開拓が進んだことと、震災後における一時的な供給不足からの代替需要もあり、もやし・カット野菜の売上高は、11億19百万円（前年同四半期比52.2%増）となりました。

③その他

その他食品においては、商品を全面的にリニューアルした「雪国納豆」の販売が好調で、前年同四半期比425.0%増と大きく売上を伸ばしたことなどで、その他食品の売上高は、2億81百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

その他の売上高は、2億1百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億42百万円増加し、381億44百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、84億18百万円となりました。これは主に、現金及び預金が11億19百万円、受取手形及び売掛金が3億52百万円減少し、繰延税金資産が7億87百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、296億79百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）が2億37百万円、有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる機械装置及び運搬具（純額）が3億66百万円、同じく有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる建設仮勘定が2億2百万円増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末に比べて18.3%増加し、176億12百万円となりました。これは主に、短期借入金が42億25百万円増加し、流動負債の「その他」に含まれる未払金が4億72百万円、同じく流動負債の「その他」に含まれる設備支払手形が6億20百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、160億35百万円となりました。これは主に、社債が2億77百万円、長期借入金が8億74百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて24.0%減少し、44億97百万円となりました。これは主に、剰余金の配当3億61百万円、四半期純損失10億97百万円の計上によるものです。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末と比較して66百万円減少し、12億18百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動におけるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金は△13億82百万円（前年同四半期比73.4%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失18億72百万円（前年同四半期5億円の純損失）及び減価償却費及びその他の償却費5億63百万円（前年同四半期比62.8%増）等によるものであります。

②投資活動におけるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は23億70百万円（前年同四半期比305.1%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億59百万円（前年同四半期比618.1%増）等によるものであります。

③財務活動におけるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は26億34百万円（前年同四半期比279.0%増）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額43億49百万円（前年同四半期比44.8%増）、長期借入金の返済による支出9億98百万円（前年同四半期比8.2%減）及び配当金の支払額3億25百万円（前年同四半期比0.3%減）等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日付「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19条の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて掲載しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379	1,260
受取手形及び売掛金	1,661	1,308
商品及び製品	1,158	1,466
仕掛品	2,441	2,102
原材料及び貯蔵品	616	632
繰延税金資産	357	1,145
その他	501	503
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	9,115	8,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,960	13,198
土地	6,792	6,786
その他（純額）	6,426	7,001
有形固定資産合計	26,179	26,986
無形固定資産	364	368
投資その他の資産		
その他	2,392	2,423
貸倒引当金	△102	△98
投資その他の資産合計	2,289	2,324
固定資産合計	28,833	29,679
繰延資産	52	46
資産合計	38,001	38,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	692	556
短期借入金	7,804	12,029
未払法人税等	243	63
引当金	250	55
その他	<u>5,891</u>	<u>4,906</u>
流動負債合計	<u>14,882</u>	<u>17,612</u>
固定負債		
社債	3,168	2,890
長期借入金	12,365	11,490
退職給付引当金	60	68
役員退職慰労引当金	470	475
その他	<u>1,137</u>	<u>1,109</u>
固定負債合計	<u>17,201</u>	<u>16,035</u>
負債合計	<u>32,084</u>	<u>33,647</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605	1,605
資本剰余金	2,262	2,262
利益剰余金	<u>3,329</u>	<u>1,868</u>
自己株式	<u>△1,321</u>	<u>△1,319</u>
株主資本合計	<u>5,875</u>	<u>4,417</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	△11
繰延ヘッジ損益	△40	△63
為替換算調整勘定	△142	△107
その他の包括利益累計額合計	<u>△197</u>	<u>△182</u>
新株予約権	59	59
少数株主持分	179	203
純資産合計	<u>5,917</u>	<u>4,497</u>
負債純資産合計	<u>38,001</u>	<u>38,144</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,308	4,998
売上原価	3,907	4,820
売上総利益	1,400	178
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	211	98
運賃	440	550
報酬及び給料手当	404	460
賞与引当金繰入額	15	12
役員退職慰労引当金繰入額	12	4
雑費	627	738
販売費及び一般管理費合計	1,710	1,864
営業損失(△)	△310	△1,686
営業外収益		
受取利息	1	0
デリバティブ収益	1	—
固定資産賃貸料	13	21
雑収入	9	13
営業外収益合計	24	34
営業外費用		
支払利息	122	136
雑損失	58	65
営業外費用合計	181	201
経常損失(△)	△466	△1,853
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	—
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産除却損	1	1
固定資産売却損	0	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
減損損失	6	6
特別損失合計	37	19
税金等調整前四半期純損失(△)	△500	△1,872
法人税等	△305	△793
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195	△1,078
少数株主利益	55	18
四半期純損失(△)	△250	△1,097

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△195</u>	<u>△1,078</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	2
繰延ヘッジ損益	△13	△23
為替換算調整勘定	11	40
その他の包括利益合計	<u>△5</u>	<u>20</u>
四半期包括利益	<u>△200</u>	<u>△1,058</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△258</u>	<u>△1,083</u>
少数株主に係る四半期包括利益	57	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△500</u>	<u>△1,872</u>
減価償却費及びその他の償却費	<u>345</u>	563
賞与引当金の増減額(△は減少)	△158	△195
減損損失	<u>6</u>	<u>6</u>
支払利息	122	136
売上債権の増減額(△は増加)	423	354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230	18
仕入債務の増減額(△は減少)	183	△162
その他	△81	55
小計	<u>111</u>	<u>△1,097</u>
利息の支払額	△117	△124
法人税等の支払額	△790	△159
その他の支出	△2	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△797</u>	<u>△1,382</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△328	△2,359
関係会社出資金の払込による支出	△235	—
その他	△21	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△585</u>	<u>△2,370</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,003	4,349
長期借入れによる収入	1	—
長期借入金の返済による支出	△1,088	△998
自己株式の取得による支出	△599	△0
配当金の支払額	△326	△325
その他	△296	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>695</u>	<u>2,634</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>3</u>	<u>△7</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△684</u>	<u>△1,126</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,969	2,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>1,284</u>	<u>1,218</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	1,605	2,262	<u>3,329</u>	△1,321	<u>5,875</u>
当第1四半期連結会計期間末 までの変動額					
剰余金の配当			△361		△361
四半期純損失(△)			<u>△1,097</u>		<u>△1,097</u>
自己株式の処分			△0	2	1
自己株式の取得				△0	△0
当第1四半期連結会計期間末 までの変動額合計	—	—	<u>△1,460</u>	2	<u>△1,458</u>
当第1四半期連結会計期間末残高	1,605	2,262	<u>1,868</u>	△1,319	<u>4,417</u>

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

【訂正前】



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月1日

上場会社名 株式会社 雪国まいたけ

上場取引所 東

コード番号 1378

URL <http://www.maitake.co.jp/>

代 表 者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 大平 喜信

問合せ先責任者（役職名） 取締役兼上席執行役員管理本部長

（氏名） 海野 光夫

T E L 025-778-0111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	4,998	△5.8	△1,686	—	△1,853	—	△1,091	—
23年3月期第1四半期	5,308	15.7	△310	—	△467	—	△244	—

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 △1,052百万円（－％） 23年3月期第1四半期 △194百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	<u>△30.15</u>	—
23年3月期第1四半期	<u>△6.59</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第1四半期	<u>39,309</u>	<u>5,667</u>	<u>13.8</u>
23年3月期	<u>39,160</u>	<u>7,081</u>	<u>17.5</u>

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 5,405百万円 23年3月期 6,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—				
24年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	13,000	14.1	△1,500	—	△1,850	—	△950	—	△26.24
通期	35,000	32.0	3,000	101.5	2,300	153.8	1,550	121.3	42.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	38,890,375株	23年3月期	38,890,375株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,686,941株	23年3月期	2,691,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	36,202,801株	23年3月期1Q	37,111,522株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び電力供給の制約等により収縮した経済活動に持ち直しの動きが見られはじめたものの、個人消費の萎縮・自粛ムードの広がりや電力使用制限への対応などから、景気の見通しは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、消費者視点でのモノ作りを追求し、「安全・安心」で「高品質」な食品の提供に取り組んでまいりました。また震災後における食材不足の状況下では、当社グループが持つ生産能力をフル稼働させて、最大限の商品供給体制で顧客からの要求に対応してまいりました。

中長期的な目標である「グローバル化の推進」としては、中国における茸事業の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

しかしながら当第1四半期連結累計期間を通じては、震災後の個人消費の減退による売上減少の影響が大きく、売上高は49億98百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業損失は16億86百万円（前年同四半期は3億10百万円の損失）、経常損失は18億53百万円（前年同四半期は4億67百万円の損失）、四半期純損失は10億91百万円（前年同四半期は2億44百万円の損失）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

セグメント		連結売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
	まいたけ	1,702	93.7
	えりんぎ	755	78.5
	ぶなしめじ	596	59.8
	その他生茸	187	87.2
	生茸計	3,241	81.2
	加工食品	154	102.6
	茸計	3,395	82.0
	もやし・カット野菜	1,119	152.2
	その他食品	281	119.2
	食品計	4,796	93.8
その他		201	103.1
合計		4,998	94.2

①茸

国内の生茸の販売は、消費全体が収縮する中で茸の消費も低迷し、苦戦を強いられる厳しい状況で推移いたしました。ぶなしめじにつきましては、前期より増産に向けた新設備の導入を進めてきましたが、一部の自動化機械設備の導入の遅れにより減産したことも売上減少及びコストアップの要因となりました。なお、ぶなしめじの増産体制につきましては、当第2四半期において全ての設備導入が完了する予定であります。

中国におきましては、四川省に新設しましたえのき茸生産工場は5月より出荷を開始し、上海市に新設しましたぶなしめじ生産工場も5月より稼働を開始しており、中国での茸事業の拡大に向けた取り組みを着実に進めてまいりました。

以上により、茸の売上高は33億95百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

②もやし・カット野菜

カット野菜の販売は、競合他社との競争が厳しさを増す中で、当社商品の価値の高さ、商品完成度の高さ、そして自社での農薬検査等の安全性の高さなどの差別化を図ってきたことが新たな販路の開拓や取り扱い数量の増加に繋がり売上を大きく伸ばしました。

また、もやしにつきましても新規開拓が進んだことと、震災後における一時的な供給不足からの代替需要もあり、もやし・カット野菜の売上高は、11億19百万円（前年同四半期比52.2%増）となりました。

③その他

その他食品においては、商品を全面的にリニューアルした「雪国納豆」の販売が好調で、前年同四半期比425.0%増と大きく売上を伸ばしたことなどで、その他食品の売上高は、2億81百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

その他の売上高は、2億1百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて１億49百万円増加し、393億９百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、84億18百万円となりました。これは主に、現金及び預金が11億19百万円、受取手形及び売掛金が３億52百万円減少し、繰延税金資産が７億87百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、308億44百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）が２億37百万円、有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる機械装置及び運搬具（純額）が３億66百万円、同じく有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる建設仮勘定が２億２百万円増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末に比べて18.3%増加し、176億６百万円となりました。これは主に、短期借入金が42億25百万円増加し、流動負債の「その他」に含まれる未払金が４億72百万円、同じく流動負債の「その他」に含まれる設備支払手形が６億20百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、160億35百万円となりました。これは主に、社債が２億77百万円、長期借入金が８億74百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20.0%減少し、56億67百万円となりました。これは主に、剰余金の配当３億61百万円、四半期純損失10億91百万円の計上によるものです。

（キャッシュ・フローについて）

当第１四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末と比較して66百万円減少し、12億18百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動におけるキャッシュ・フロー

当第１四半期連結累計期間における営業活動による資金は△13億82百万円（前年同四半期比73.4%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失18億66百万円（前年同四半期4億94百万円の純損失）及び減価償却費及びその他の償却費５億63百万円（前年同四半期比62.7%増）等によるものであります。

②投資活動におけるキャッシュ・フロー

当第１四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は23億70百万円（前年同四半期比305.1%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億59百万円（前年同四半期比618.1%増）等によるものであります。

③財務活動におけるキャッシュ・フロー

当第１四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は26億34百万円（前年同四半期比279.0%増）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額43億49百万円（前年同四半期比44.8%増）、長期借入金の返済による支出９億98百万円（前年同四半期比8.2%減）及び配当金の支払額３億25百万円（前年同四半期比0.3%減）等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月９日付「平成23年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19条の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて掲載しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379	1,260
受取手形及び売掛金	1,661	1,308
商品及び製品	1,158	1,466
仕掛品	2,441	2,102
原材料及び貯蔵品	616	632
繰延税金資産	357	1,145
その他	501	503
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	9,115	8,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,976	13,214
土地	7,934	7,935
その他（純額）	6,426	7,001
有形固定資産合計	27,337	28,151
無形固定資産	364	368
投資その他の資産		
その他	2,392	2,423
貸倒引当金	△102	△98
投資その他の資産合計	2,289	2,324
固定資産合計	29,992	30,844
繰延資産	52	46
資産合計	39,160	39,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	692	556
短期借入金	7,804	12,029
未払法人税等	243	63
引当金	250	55
その他	<u>5,886</u>	<u>4,900</u>
流動負債合計	<u>14,877</u>	<u>17,606</u>
固定負債		
社債	3,168	2,890
長期借入金	12,365	11,490
退職給付引当金	60	68
役員退職慰労引当金	470	475
その他	<u>1,137</u>	<u>1,109</u>
固定負債合計	<u>17,201</u>	<u>16,035</u>
負債合計	<u>32,078</u>	<u>33,641</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605	1,605
資本剰余金	2,262	2,262
利益剰余金	<u>4,493</u>	<u>3,039</u>
自己株式	<u>△1,321</u>	<u>△1,319</u>
株主資本合計	<u>7,039</u>	<u>5,587</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	△11
繰延ヘッジ損益	△40	△63
為替換算調整勘定	△142	△107
その他の包括利益累計額合計	<u>△197</u>	<u>△182</u>
新株予約権	59	59
少数株主持分	179	203
純資産合計	<u>7,081</u>	<u>5,667</u>
負債純資産合計	<u>39,160</u>	<u>39,309</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,308	4,998
売上原価	3,907	4,820
売上総利益	1,400	178
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	211	98
運賃	440	550
報酬及び給料手当	404	460
賞与引当金繰入額	15	12
役員退職慰労引当金繰入額	12	4
雑費	628	738
販売費及び一般管理費合計	1,711	1,864
営業損失(△)	△310	△1,686
営業外収益		
受取利息	1	0
デリバティブ収益	1	—
固定資産賃貸料	13	21
雑収入	9	13
営業外収益合計	24	34
営業外費用		
支払利息	122	136
雑損失	58	65
営業外費用合計	181	201
経常損失(△)	△467	△1,853
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	—
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産除却損	1	1
固定資産売却損	0	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
特別損失合計	31	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△494	△1,866
法人税等	△305	△793
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189	△1,072
少数株主利益	55	18
四半期純損失(△)	△244	△1,091

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△189</u>	<u>△1,072</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	2
繰延ヘッジ損益	△13	△23
為替換算調整勘定	11	40
その他の包括利益合計	<u>△5</u>	<u>20</u>
四半期包括利益	<u>△194</u>	<u>△1,052</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△252</u>	<u>△1,077</u>
少数株主に係る四半期包括利益	57	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△494</u>	<u>△1,866</u>
減価償却費及びその他の償却費	<u>346</u>	563
賞与引当金の増減額(△は減少)	△158	△195
支払利息	122	136
売上債権の増減額(△は増加)	423	354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230	18
仕入債務の増減額(△は減少)	183	△162
その他	△81	55
小計	<u>111</u>	<u>△1,097</u>
利息の支払額	△117	△124
法人税等の支払額	△790	△159
その他の支出	△2	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△797</u>	<u>△1,382</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△328	△2,359
関係会社出資金の払込による支出	△235	—
その他	△21	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△585</u>	<u>△2,370</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,003	4,349
長期借入れによる収入	1	—
長期借入金の返済による支出	△1,088	△998
自己株式の取得による支出	△599	△0
配当金の支払額	△326	△325
その他	△296	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>695</u>	<u>2,634</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>3</u>	<u>△7</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△684</u>	<u>△1,126</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,969	2,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>1,284</u>	<u>1,218</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	1,605	2,262	<u>4,493</u>	△1,321	<u>7,039</u>
当第1四半期連結会計期間末 までの変動額					
剰余金の配当			△361		△361
四半期純損失(△)			<u>△1,091</u>		<u>△1,091</u>
自己株式の処分			△0	2	1
自己株式の取得				△0	△0
当第1四半期連結会計期間末 までの変動額合計	—	—	<u>△1,454</u>	2	<u>△1,451</u>
当第1四半期連結会計期間末残高	1,605	2,262	<u>3,039</u>	△1,319	<u>5,587</u>

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。